

## Ⅱ. 総 会 資 料

## 1. 協会賞（2010年度審査決定：2011年度表彰）

### （1）受賞

明治大学図書館

『明治大学図書館・博物館所蔵 時田昌瑞ことわざコレクション目録』

第1部（図書館学の研究・調査業績）（3）書誌・歴史部門

（採択理由）

- （1）推薦に係る目録を見ると、図書館が関わった部分とカルタや工芸品・生活用具などで博物館が関わった部分の合本となっており、異質のものが同居し、完全に融合した目録とはなっていない。従来の協会賞選定基準からすると授賞に値する。しかしながら、索引が全体に通っていない等、目録として残念な部分もある。
- （2）当該図書館は、この目録作成だけでなく、博物館と協働して展示の実施・カタログの作成、ホームページによる活動を展開し、高い評価を得た。こうした活動全体を見ると、今後の図書館と博物館とのコラボレーションのヒントとして、本協会加盟館にとって有益なノウハウを提供するものと思われる。連携については、まだ発展途上の感もあるが、図書館と他機関との連携の萌芽として今後の展開に期待し、採択可否のポイントの（1）の（ア）および（エ）に該当すると考え、協会賞に採択する。

### （2）審査経緯

2011年1月31日に受賞候補者の推薦を締め切ったところ1件の応募があり、2月25日開催の2010年度第1回協会賞審査委員会にて審議された結果が3月4日開催の2010年度第2回東西合同役員会に答申され、協議した結果、2010年度協会賞に『採択』と決定した。

### （参考）

「申し合わせ事項」の採択の可否ポイント

「協会賞」の審査にあたっての協会賞審査委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項（2006年度第1回東西合同役員会承認）」より抜粋

当面、下記の「採択可否のポイント」および過去の審査における採択の状況をもって今後の判断基準とし、かつ、推薦されるときを目安に資することにする。

#### （1）規程第3条の第1部（図書館学の研究・調査業績）

採択可否のポイント

- （ア）画期的な創意がみられること。そのノウハウが各加盟館において多大に生かされることが想定されるものであること。建造物にかかわる内容の場合も同様とする。
- （イ）研究活動が長年にわたっている場合、その成果が集積され推薦年度に評価できる一定の成果がみられること。
- （ウ）過去に複数論文を発表していて、推薦年度において発表された論文が同種のテーマであり、

かつ、その内容がユニークなうえに将来に対して示唆に富んだものであること。

(エ) 調査業績の結果が、多くの大学図書館において参考に資せると思料できること。

(オ) ハンドブックのように世に出ることによって、各種図書館殊に大学図書館において大変役立つものと思われること。

なお、刊行物または論文が当該推薦にかかる時、これが本協会の研究助成を受けて刊行または掲載されている場合であっても協会賞の授与対象とする。

## 2. 研究助成 (2011 年度助成対象：2010 年度決定)

### (1) 助成対象

長谷川豊祐            鶴見大学図書館

研究テーマ：大学図書館員の意識調査    (個人研究)

助成期間：2011 年度 (1 年)

### 3. 会務報告（2010年度）

#### （1）協会加盟校

##### 1）2010年度加盟校数（2011年3月31日現在）

東地区	260校
西地区	260校
合計	520校

##### 2）加盟館名称変更（2010年9月9日以後）

西地区 南九州大学高鍋図書館  
→ 南九州大学都城図書館

#### （2）総会・研究大会

##### 1）第71回（2010年度）総会

日時：2010年9月9日（木）

場所：西南学院大学 チャペル

##### 報告事項

1. 会務報告
2. 委員会報告
3. 協会関連事項報告
4. 図書館におけるRFID導入のためのガイドライン
5. 役員校、委員会および協会関連団体等委員

##### 協議事項

1. 2009年度一般会計・特別会計決算報告（案）
2. 2010年度事業計画（案）
3. 2010年度一般会計・特別会計予算（案）
4. 研究助成規程の一部改正
5. 2011年度～2012年度役員校
6. 新規加盟校および脱退校

##### 講演

「知の仕掛け、ラーニング・コモンズをどう捉えるか」

第1部 「なぜ、ラーニング・コモンズが注目されるのか」

同志社大学企画課長 井上 真琴

第2部 「ラーニング・コモンズの理論的枠組み」

国立情報学研究所学術基盤推進部

学術コンテンツ課長 米澤 誠

##### 2）研究大会

日時：2010年9月10日（金）

場 所：西南学院大学 チャペル

スケジュール

1. 2009 年度海外集合研修報告

大坪 一幸	京都精華大学情報館
高橋 正江	上智大学図書館
高木 彩	白百合女子大学図書館
幸坂 希	北星学園大学図書館
鈴木 直子	明治学院大学図書館
大勢 美穂	立命館アジア太平洋大学総合情報センター

2. 2009 年度海外派遣研修報告

山田 賢悟	法政大学図書館
-------	---------

3. 研究助成発表

「学生の図書に対する感想をOPACで共有することによる図書の効果的な活用に関する研究」

尚綱大学・尚綱学園図書館	鋦田 由佳里・北口 己津子
--------------	---------------

4. 記念講演

「菅原道真公と太宰府天満宮ー我国の図書館学の草分けとしてー」

太宰府天満宮文化研究所 主管学芸員・禰宜	味酒 安則
----------------------	-------

(3) 東西合同役員会

1) 第1回東西合同役員会

日 時：2010年9月8日(水)

場 所：西南学院大学 2号館

報告事項

1. 協会会務報告(2010年4月～7月)
2. 東地区部会会務報告
3. 西地区部会会務報告
4. 委員会報告
  - (1) 協会賞審査委員会
  - (2) 研究助成委員会
  - (3) 国際図書館協力委員会
  - (4) 協会ホームページ委員会
5. 協会関連事項報告
  - (1) 国公立大学図書館協力委員会
  - (2) 日本図書館協会
6. 図書館におけるRFID導入のためのガイドライン
7. 協会役員校、委員会および協会関連団体委員
8. 2010年度行事・会議予定

#### 協議事項

1. 2009年度一般会計・特別会計決算報告(案)
2. 2010年度事業計画(案)
3. 2010年度一般会計・特別会計予算(案)
4. 研究助成規程の一部改正
5. 新規加盟校および脱退校
6. 2011年度協会脱退届の取り扱い
7. 2011年度～2012年度役員校
8. 2011年度研究助成課題研究のテーマ
9. 第72回(2011年度)総会・研究大会

#### 懇談事項

1. 第71回(2010年度)総会・研究大会
2. 2011年度～2012年度委員会委員の選出
3. 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービス

#### 2) 第2回東西合同役員会

日 時：2011年3月4日(金)

場 所：大阪ガーデンパレス 桐の間

#### 報告事項

1. 協会会務報告(2010年8月～2011年2月)
2. 東地区部会会務報告
3. 西地区部会会務報告
4. 委員会報告
  - (1) 協会賞審査委員会
  - (2) 研究助成委員会
  - (3) 国際図書館協力委員会
  - (4) 協会ホームページ委員会
5. 協会関連事項報告
  - (1) 国公立大学図書館協力委員会
  - (2) 国会図書館長と大学図書館長との懇談会
  - (3) 著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集
  - (4) 電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化
  - (5) 日本図書館協会
6. 協会役員校、委員会および協会関連団体委員
7. 2011年度行事・会議予定

#### 協議事項

1. 2010年度一般会計・特別会計決算報告(案)
2. 2011年度事業計画(案)

3. 2011 年度一般会計・特別会計予算（案）
  4. 第 72 回（2011 年度）総会・研究大会
  5. 2010 年度協会賞
  6. 2011 年度研究助成
  7. 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービス
- 懇談事項
1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出
  2. 協会賞の審査にあたっての申し合わせ
  3. 図書館長リレーメッセージ

#### （4）常任幹事会

##### 1) 第 1 回常任幹事会

期 日：2010 年 4 月 9 日（金）

場 所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 協会会務報告（2010 年 3 月）
2. 委員会報告
  - (1) 国際図書館協力委員会
3. 協会関連事項報告
  - (1) 日本図書館協会
4. 2010 年度国際図書館協力シンポジウム
5. 図書館における R F I D 導入のためのガイドライン
6. 2010 年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員
7. 2010 年度行事・会議予定

協議事項

1. 2009 年度一般会計・特別会計決算報告（案）
2. 2010 年度事業計画(案)
3. 2010 年度一般会計・特別会計予算（案）

懇談事項

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出

##### 2) 第 2 回常任幹事会

日 時：2010 年 12 月 3 日（金）

場 所：青山学院大学 総合研究所ビル

報告事項

1. 協会会務報告（2010 年 8 月～11 月）
2. 東地区部会会務報告
3. 西地区部会会務報告

4. 委員会報告
  - (1) 協会賞審査委員会
  - (2) 研究助成委員会
  - (3) 国際図書館協力委員会
  - (4) 協会ホームページ委員会
5. 協会関連事項報告
  - (1) 国公立大学図書館協力委員会
  - (2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
  - (3) 著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集
  - (4) 電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化
6. 2011年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員
7. 2011年度行事・会議予定

#### 協議事項

1. 2010年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込
2. 2011年度事業計画（案）
3. 2011年度一般会計・特別会計予算（案）
4. 第72回（2011年度）総会・研究大会

#### 懇談事項

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出
2. 2011年度協会脱退届の取り扱い

#### (5) 会報の刊行

- 1) 第134号の刊行（2010年9月8日）

東地区・西地区各々の会務報告・研究大会報告を掲載。
- 2) 第135号の刊行（2011年3月8日）

協会総会・研究大会報告を掲載。

## 4. 委員会報告

### (1) 協会賞審査委員会

#### 1) 第1回委員会

日 時：2011年2月25日（金）

場 所：慶應義塾大学 図書館新館

#### 協議事項

1. 協会賞の審査（応募1件）
2. 次期委員長の選出



(2) 研究助成委員会

1) 第1回委員会

日 時：2010年5月28日(金)

場 所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 2009年度特別会計決算および2010年度特別会計予算

協議事項

1. 研究助成「海外図書館事情調査」の新設
2. 研究助成規程の改正
3. 課題研究のテーマ
4. 今後のスケジュール

2) 第2回委員会

日 時：2011年1月27日(木)

場 所：立教大学 池袋キャンパス 11号館

協議事項

1. 研究助成の審査(応募2件)
2. 2010年度特別会計決算および2011年度特別会計予算
3. 研究助成への応募の活性化方策

(3) 国際図書館協力委員会

1) 委員会

① 第1回委員会

日 時：2010年4月23日(金)

場 所：青山学院大学 総合研究所ビル

報告事項

1. 国際図書館協力特別会計2009年度決算  
協議事項

1. 国際図書館協力特別会計2010年度予算
2. 国際図書館協力基金
3. 国際図書館協力シンポジウム
4. 2010年度イリノイ大学モーテンソンセンターとの協定および海外派遣研修
5. 2010年度海外集合研修

② 第2回委員会

日 時：2010年5月13日(木)

場 所：青山学院大学 総合研究所ビル

協議事項

1. 国際図書館協力シンポジウム

③ 第3回委員会

日 時：2010年7月2日（金）

場 所：立命館大学 朱雀キャンパス 6号館

報告事項

1. 国際図書館協力シンポジウム実施総括と経費の決算（案）
2. 海外認定研修

協議事項

1. 2010年度第1回寄贈資料搬送事業募集結果
2. 2010年度第2回寄贈資料搬送事業募集
3. 2010年度海外集合研修の参加者募集
4. 国際図書館協力基金

④ 第4回委員会

日 時：2010年10月1日（金）

場 所：早稲田大学 大隈記念タワー

報告事項

1. 海外認定研修

協議事項

1. 2010年度海外集合研修派遣者
2. 2011年度海外派遣研修
3. 国際図書館協力基金

⑤ 第5回委員会

日 時：2010年12月17日（金）

場 所：愛知大学 研究館

報告事項

1. 2010年度海外集合研修
2. イリノイ大学モータンソンセンターとの協定締結

協議事項

1. 2010年度第2回寄贈資料搬送事業
2. 2010年度海外認定研修
3. 国際図書館協力基金

⑥ 第6回委員会

日 時：2011年3月11日（金）

場 所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 2010年度海外集合研修報告書
2. 2010年度海外認定研修報告書
3. 2011年イリノイ大学モータンソンセンターとの協定書
4. 2010年度国際協力基金

協議事項

1. 2010年度海外認定研修（第2次募集）
2. 2010年度各事業進捗状況
3. 2010年度予算執行状況
4. 2011年度第1回寄贈資料搬送事業募集要項

## 2) 実施事業

### ① 第1回寄贈資料搬送事業

募集期間：2010年4月1日～5月31日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	見積額
1	国際大学松下図書・情報センター	Institute of Rural Development Planning (タンザニア)	200	10	61,290円
2	阪南大学図書館	East Asian Library-Leuven University (ベルギー)	414	18	294,000円

### ② 第2回寄贈図書搬送事業

募集期間：2010年10月1日～11月30日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	見積額
1	国際大学松下図書・情報センター	Institute of Rural Development Planning (タンザニア)	200	10	64,000円
2	国土舘大学附属図書館	National University of Mongolia (モンゴル)	403	30	551,850円
3	京都産業大学図書館	清華大学外国語学部日本語学科 (中国)	279	24	取り下げ

※ 国際大学の資料搬送については、タンザニアの国内搬送手配の関係で日本郵便による搬送とする。

※ 国土舘大学の資料搬送については、モンゴルへの搬送が船便利用では困難であるため航空便扱いでの搬送とし、見積価格を上限としてモンゴルでの通関・搬送手配が可能な業者を調整・選定する。

※ 京都産業大学の資料搬送については、2010年度内に実施できずに取り下げとなった。

2011年度第1回寄贈図書搬送事業に再申請となった。

### ③ 国際図書館協力シンポジウム

日 時：2010年5月14日（金）

場 所：青山学院大学 青山キャンパス

テ ー マ：学術情報のデジタル化と図書館の未来—ネットワーク時代の国際連携—

講 演：Dr. Ingrid T. Parent (University Librarian)

University of British Columbia 図書館長 (2009年7月1日～)

国際図書館連盟 (IFLA) 次期会長 (2011～2013年)

パネルディスカッション：

パネリスト：Ingrid T. Parent UBC 図書館長  
時実 象一 愛知大学文学部教授  
古賀 崇 京都大学附属図書館研究開発室准教授  
中元 誠 (司会) 早稲田大学図書館事務部長

④ 海外集合研修

日 程：2010年11月21日～11月28日

研修テーマ：「カナダの大学図書館探訪」

訪問機関：University of British Columbia (Vancouver)

University of Victoria (Vancouver)

参加者：永井 夏紀 中央大学図書館  
八神 加奈 日本社会事業大学附属図書館  
宮尾 加奈子 立教大学図書館

⑤ 海外派遣研修の中止

イリノイ大学モーテンソンセンターより、2010年度の研修プログラムについては中止し、現行のプログラムを改善のうえ2011年度(6月もしくは7月)に再開する旨の連絡があった。これに伴い、私立大学図書館協会とイリノイ大学モーテンソンセンターとの協定について2010年度は締結しないこととなった。

2011年度については2010年度に派遣する予定であった鈴木氏を次のとおり派遣する。

日 程：2011年5月30日～6月22日

派遣先：イリノイ大学モーテンソンセンター

派遣者：鈴木 正紀 文教大学越谷図書館

⑥ 海外認定研修

募集期間：2010年9月17日～11月30日(第1次)

締切延長：2011年2月28日(第2次)

採択者：堀江 元信 麗澤大学図書館  
江原つむぎ 立教大学図書館  
今村 太朗 関西学院大学図書館  
川崎 安子 武庫川女子大学図書館  
本間 通正 東京理科大学図書館

(4) 協会ホームページ委員会

1) 委員会

① 第1回委員会

日 時：2010年4月23日(金)

場 所：立命館アジア太平洋大学

報告事項

1. 私立大学図書館協会ならびに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況等

#### 協議事項

1. 掲示板の運用
2. 私立大学図書館協会ホームページリンク登録手続きの廃止
3. 次期ホームページ委員の構成

#### ② 第2回委員会

日 時：2010年7月9日（金）

場 所：中京大学 名古屋キャンパス 図書館

#### 報告事項

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況等

#### 協議事項

1. 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービス細則等
2. 次期ホームページ委員の構成
3. WWW 情報資源提供サービス申請書フォーマット見直し

#### ③ 第3回委員会

日 時：2010年10月29日（金）

場 所：同志社大学 今出川図書館

#### 報告事項

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況等

#### 協議事項

1. 私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービス
2. 次期ホームページ委員の構成
3. ホームページ委員業務の業者委託
4. その他

#### ④ 第4回委員会

日 時：2011年2月23日（水）

場 所：中央大学 中央図書館

#### 報告事項

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況等
2. 英語版ホームページの修正

#### 協議事項

1. ファーストサーバ 次年度契約
2. ファーストサーバ 移行作業
3. 次年度の委員会活動
4. その他

## 2) 実績報告

### ① 協会インフォメーションサービスの開始

2010年10月1日から試験運用を開始した。（2011年度より正式運用）

図書館長のリレーメッセージ、東北地方太平洋沖地震被災大学への協力支援、加盟館開催の講演会・シンポジウムの案内などに活用されている。

- ② 協会ホームページのサーバ移転  
2011年3月29日に協会ホームページを新サーバへ移転した。サーバ切り替えによりディスク容量が大幅に拡張された。
- ③ 英語版ページのリニューアル  
英語版ページのリニューアルにむけて、業者に委託して英語版Webページを作成した。(2011年4月公開)

### 3) WWW情報資源提供サービス利用状況(2011年3月31日現在)

- ① 有料レンタルサーバの契約  
契約期間：年間契約  
契約ディスク容量：1TB  
使用量：2.84GB
- ② 情報資源利用状況  
ホームページ設置スペースサービス：20団体  
代表者宛メールアドレスサービス：25団体  
構成員用メーリングリストサービス：31団体

## 5. 協会関連事項報告

### (1) 国公立大学図書館協力委員会

#### 1) 委員会

##### ① 第68回国公立大学図書館協力委員会

日時：2010年7月30日(金)

場所：大阪市立大学 学術情報総合センター

報告事項

#### 1. 委員長館会務

- (1) 平成21年度第2回常任幹事会
  - (2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
  - (3) 常任幹事館担当者打ち合わせ
  - (4) 常任幹事館と国立情報学研究所との業務連絡会
  - (5) 国立国会図書館と大学図書館との連絡会
  - (6) ICタグ研究委員会図書館部会について
- 2. 「大学図書館協力ニュース」編集委員会
  - 3. 「大学図書館研究」編集委員会
  - 4. 大学図書館著作権検討委員会
  - 5. シンポジウム企画・運営委員会
  - 6. GIFプロジェクト関連

7. 学位論文電子化に関するワーキンググループ活動
8. JCOLC関連
  - (1) 国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC関連）
  - (2) JCOLC関連
9. その他
  - (1) 国立大学図書館協会
  - (2) 公立大学協会図書館協議会
  - (3) 私立大学図書館協会
  - (4) 国立国会図書館協会
  - (5) 日本図書館協会大学図書館部会

協議事項

1. 次期委員長館の選出

② 第69回国公私立大学図書館協力委員会

日 時：2010年11月11日（木）

場 所：国立情報学研究所 講義室1・2

報告事項

1. 委員長館会務
  - (1) 事務引継
  - (2) 出席者一覧、協力委員会名簿、専門委員会名簿
  - (3) 常任幹事館担当者打ち合わせ
  - (4) 平成22年度第1回常任幹事会
  - (5) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
2. 「大学図書館協力ニュース」編集委員会
3. 「大学図書館研究」編集委員会
4. 大学図書館著作権検討委員会
5. シンポジウム企画・運営委員会
6. GIFプロジェクト関連
7. 学位論文電子化に関する進捗
8. JCOLC関連
  - (1) 国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC関連）
  - (2) 国立大学図書館協会
  - (3) 公私立大学図書館コンソーシアム（PULC関連）
9. その他
  - (1) 国立大学図書館協会
  - (2) 公立大学協会図書館協議会
  - (3) 私立大学図書館協会
  - (4) 日本図書館協会大学図書館部会
  - (5) NACSIS-ILLによるBLDSC依頼サービスの終了

協議事項

1. 平成21年度決算報告書（案）ならびに監査報告
2. 平成22年度予算（案）
3. 電子ジャーナル・コンソーシアム連携
4. 監事館の選出

懇談事項

1. SCOAP<sup>3</sup>への対応
- 2) ICOLC (International Coalition of Library Consortia) 会議への派遣  
派遣者：市古みどり（慶應義塾大学理工学メディアセンター）  
日 時：2010年10月4日(月)～10月6日(水)  
派遣先：アムステルダム（オランダ）

(2) 日本図書館協会

1) 会議

① 2010年度第1回評議員会

日 時：2010年5月27日(木)

場 所：日本図書館協会 2階研修室

報告事項

1. 理事会報告

協議事項

1. 2009年度会務報告案
2. 2009年度決算報告案
3. 2009年度監査報告
4. 顧問の推挙、参与の委嘱
5. 新たな法人への移行
6. 第96回全国図書館大会奈良大会の開催

② 第32期第1年次（2010年度）定期総会

日 時：2010年5月28日(金)

場 所：江戸東京博物館ホール

協議事項

1. 2009年度会務報告・案
2. 2009年度決算報告・案
3. 新たな法人への移行

③ 2010年度第2回評議員会

日 時：2011年3月18日(金)

場 所：日本図書館協会 2階研修室

報告事項

1. 理事会の報告



## 協議事項

1. 2011 年度事業計画案
2. 2011 年度予算案
3. 新たな法人（「公益社団法人日本図書館協会」）移行  
定款案等の提案
4. 映像事業
5. その他

### (3) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日 時：2010 年 11 月 11 日（木）

場 所：国立国会図書館 本館総務課第 1 会議室

#### 懇談会次第

1. 開会あいさつ
2. 国立国会図書館と大学図書館との連絡会活動報告
3. 国立国会図書館長による基調報告
4. 国公立大学図書館協力委員会委員長による基調報告
5. 意見交換
6. 閉会あいさつ

### (4) 著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集

国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループから次のことについて意見募集の依頼があった。

- ・ 発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物を図書館が複製する場合において、権利者が出版物等に適宜、「発行後相当期間」を表示すること
- ・ 私的使用目的の複製ならびに教育を担当する者及び授業を受ける者がする複製など  
著作権法第 31 条以外の複製について、図書館は館内において禁止すること

私大協発第 10-67 号（2010 年 11 月 15 日付）文書（メールマガジンによる）にて周知するとともに意見募集への協力依頼を行なった。

### (5) 電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化

国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会で協定を締結し、ワーキング・グループを設置した。プレスリリースを実施した。新たな組織の設置に向けた準備を進めた。

### (6) 公私立大学図書館コンソーシアム（PULC）への宛名シール提供

7 月 15 日に PULC 事務局・早稲田大学図書館より、版元提案説明会開催案内を送付するため加盟館住所のタック紙の提供依頼があり、従来どおり、本年も 7 月 20 日にタック紙を送付した。

(7) 図書館におけるRFID導入のためのガイドライン

国公立大学図書館協力委員会より検討依頼を受け、内容的に妥当であるので本協会として標記ガイドラインに賛同したもの。

私大図協発第10-4号(2010年4月5日付)文書(メールマガジンによる)にて本協会加盟館へ周知した。

(8) 後援・共催事項

① 第12回図書館総合展の後援

日 時：2010年11月24日(水)～11月26日(金)

場 所：パシフィコ横浜

主 催：図書館総合展運営委員会

企画運営：カルチャー・ジャパン

後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要

② 情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウムの後援

日 時：2010年10月29日(金)

場 所：江戸東京博物館ホール

テ ー マ：『デジタルアーカイブの最前線－現状と未来－』

後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要

(9) その他(2011年度会務報告)

① 「SCOAP<sup>3</sup>協力表明」への賛同

学術雑誌のオープンアクセス化を目指すプロジェクトSCOAP<sup>3</sup>より、国公立大学図書館協力委員会を窓口として日本に協力要請があり、国公立大学図書館協力委員会は国立大学・公立大学・私立大学の各図書館協会・協議会から賛同を得ることを条件として、協力表明に向けた動きを進めることとした。今回の協力表明に際しては、経費の支出がともなわず、人的労力の負担も求められていないことから、私立大学図書館協会としては、オープンアクセス化をめぐる議論に参加し方向性を見定めていくことが重要と考え、他の協会・協議会とともに賛同を表明することとした。

## 6. 2011年度私立大学図書館協会役員校、委員会および協会関連団体委員

### (1) 役員校

会長校 立教大学

#### 東地区部会

部会長校 明治学院大学

理事校 東京農業大学 (研究部担当)

〃 日本女子大学 (分科会更新担当・会報担当)

〃 神奈川大学 (分科会月例担当)

〃 酪農学園大学 (東北・北海道地区担当)

監事校 青山学院大学 (前部会長校)

#### 西地区部会

部会長校 広島修道大学 (中国・四国地区協議会)

理事校 中京大学 (東海地区協議会)

〃 奈良大学 (京都地区協議会)

〃 桃山学院大学 (阪神地区協議会)

〃 広島工業大学 (中国・四国地区協議会・会則第13条第2項)

〃 熊本学園大学 (九州地区協議会)

監事校 関西大学 (前会長校)

### (2) 委員会

#### 1) 協会賞審査委員会

今村 太朗 (委員長)	関西学院大学
阿部 博則	駒澤大学
古庄 敬文	西南学院大学
石黒 敦子	慶應義塾大学
神崎 順一	天理大学
荘司 雅之	早稲田大学
鈴木 正紀	文教大学
山内 隆文	名古屋学院大学

#### 2) 研究助成委員会

斎藤 雅彦 (委員長)	専修大学
足立 祐輔	愛知学院大学
川尻 勝治	桃山学院大学
小泉 徹	立教大学
武山 精志	立命館大学
坂口 雅樹	明治大学
社家 彰夫	広島修道大学

山 田 玲 子 明治学院大学

3) 国際図書館協力委員会

長 島 敏 樹 (委員長) 慶應義塾大学  
今 村 太 朗 関西学院大学  
木 村 千 鶴 広島修道大学  
大 平 龍 玄 愛知学院大学  
鈴 木 直 子 明治学院大学  
吉 兼 ま り 東京農業大学

4) 協会ホームページ委員会

濱 生 快 彦 (委員長) 関西大学  
安 東 正 玄 立命館大学  
千 葉 久 仁 子 明治学院大学  
廣 松 亜 矢 子 熊本学園大学  
井 上 瑞 枝 広島工業大学  
村 上 諭 司 桃山学院大学  
中 村 直 美 愛知大学  
野 原 文 子 立教大学  
社 家 彰 夫 広島修道大学  
土 屋 寛 子 東京農業大学  
梅 田 順 一 明治大学

(3) 協会関連団体

1) 国公立大学図書館協力委員会

委員長館：慶應義塾大学（2010年8月1日～2011年7月31日）

① 委員館（2011年4月1日～2013年3月31日）

委員館・常任幹事館 慶應義塾大学  
委員館・常任幹事館 早稲田大学  
委員館 立教大学  
委員館 明治学院大学  
委員館 広島修道大学  
委員館 関西大学

② 『大学図書館協力ニュース』編集委員会

委員（2011年4月1日～2013年3月31日）

伊 藤 秀 弥 立教大学  
椎 名 ち か 子 明治学院大学  
木 村 千 鶴 広島修道大学

③ 『大学図書館研究』編集委員会

委員

天 笠 洋 一	京都産業大学
市 古 みどり	慶應義塾大学
市 河 原 雅 子	関西学院大学
西 脇 亜 由 子	明治大学
下 澤 計 治	法政大学
多 田 智 子	早稲田大学

④ 大学図書館著作権検討委員会

委員

松 本 和 子 (主査)	慶應義塾大学
荘 司 雅 之	早稲田大学

⑤ 大学図書館著作権検討委員会ワーキング・グループ

委員

岡 野 純 子	慶應義塾大学
服 部 光 泰	早稲田大学

⑥ シンポジウム企画・運営委員会

委員

市 古 みどり	慶應義塾大学
中 元 誠	早稲田大学

2) 日本図書館協会

① 施設会員理事

田 村 俊 作	慶應義塾大学メディアセンター所長
---------	------------------

② 施設会員評議員

石 川 巧	立教大学図書館長
増 山 幸 一	明治学院大学図書館長
森 川 泉	広島修道大学図書館長
北 川 勝 彦	関西大学図書館長

③ 大学図書館部会

施設会員委員

荘 司 雅 之	早稲田大学
関 秀 行	慶應義塾大学

④ 図書館年鑑編集委員

小 泉 徹	立教大学
-------	------

## 7. 2010年度 ご寄付をいただいた企業

### (1) 研究助成部門 (五十音順)

株式会社 紀伊國屋書店

株式会社 雄松堂書店

丸善株式会社

以上 3社

### (2) 国際図書館協力基金部門 (五十音順)

株式会社 カルチャー・ジャパン

株式会社 紀伊國屋書店

株式会社 極東書店

株式会社 ジュンク堂書店

株式会社 日立製作所

株式会社 雄松堂書店

スエッツ インフォメーション サービス株式会社

大日本印刷株式会社

トムソン・ロイター・プロフェッショナル株式会社

ナカバヤシ株式会社

日本古書籍商協会

日本ファイリング株式会社

富士通株式会社

丸善株式会社

以上 14社

## 8. 総会議案

- 第1号議案 2010年度一般会計・特別会計決算報告（案）
- 第2号議案 「東日本大震災」被災地域加盟館への支援（案）
- 第3号議案 2011年度事業計画（案）
- 第4号議案 2011年度一般会計・特別会計予算（案）
- 第5号議案 協会賞授与規定および「協会賞」審査にあたっての申し合わせ事項の改訂（案）
- 第6号議案 新規加盟校および脱退校（案）

# 第1号議案 2010年度一般会計・特別会計決算報告(案)

(2010年4月1日～2011年3月31日)

## (1) 一般会計

### 収入の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
会 費	16,265,000	16,258,000	7,000	加盟大学520校(新規加盟5校含む,うち1校は未収)
雑収入	30,000	10,347	19,653	資料売上代・預金利息
その他	0	643,620	△ 643,620	第71回総会・研究大会特別会計から戻入282,345円 研究助成委員会活動費戻入361,275円
小 計	16,295,000	16,911,967	△ 616,967	
前年度繰越金	16,501,620	16,501,620	0	
合 計	32,796,620	33,413,587	△ 616,967	

### 支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
運営費	2,450,000	2,216,053	233,947	
1. 事務費	300,000	127,018	172,982	消耗品、振込手数料他
2. 印刷費	350,000	408,550	△ 58,550	配付書類等印刷費他
3. 通信費	400,000	367,480	32,520	配付書類等郵便費
4. 役員会費	300,000	299,674	326	常任幹事会・東西合同役員会他
5. 委員会費	100,000	54,000	46,000	協会賞審査委員会
6. 役員校活動費	1,000,000	959,331	40,669	会長校、部会長校、監事校活動費
事業費	14,313,050	13,207,794	1,105,256	
1. 総会・研究大会開催支援費	1,400,000	1,400,000	0	総会開催援助金
2. 協会賞費	100,000	100,000	0	賞金(1件)
3. 講師派遣費	350,000	271,170	78,830	総会、研究大会 来賓交通・宿泊費、講師謝礼、
4. 会報刊行費	1,700,000	1,221,344	478,656	会報134号、135号、7-7 起こし代
5. 部会交付金	6,760,000	6,760,000	0	東地区260校、西地区260校 (@13,000)
6. 委員会活動費	750,000	750,000	0	研究助成、国際図書館協力、ホームページ各委員会へ各25万円
7. 国際図書館協力事業支援費	2,000,000	2,000,000	0	国際図書館協力委員会事業の補助
8. 海外図書館事情調査・海外認定研修補助費	500,000	248,530	251,470	5件採択
9. 協会HP有料サイト利用料	253,050	166,950	86,100	2011年度分前払い
10. 協会HP運営費	500,000	289,800	210,200	英語ホームページの更新費
国公立大学図書館協力費	500,000	500,000	0	
小 計	17,263,050	15,923,847	1,339,203	
予備費	15,533,570	0	15,533,570	
合 計	32,796,620	15,923,847	16,872,773	
次年度繰越金	0	17,489,740	△ 17,489,740	
総 計	32,796,620	33,413,587	△ 616,967	

### 会費内訳

学 生 数 (人)	会費単価 (円)	校数 (校)	会費金額 (円)
未納	0	1	0
1～500	22,000	70	1,540,000
501～1,500	27,000	155	4,185,000
1,501～3,000	32,000	123	3,936,000
3,001～8,000	37,000	117	4,329,000
8,001～	42,000	54	2,268,000
総計		520	16,258,000



## (2) 特別会計

### ① 研究助成特別会計

#### 収入の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
前年度繰越金	5,558,017	5,558,017	0	
預金利息	1,000	1,125	△ 125	
寄付金	600,000	600,000	0	20万円×3社
雑収入	0	1,200	△ 1,200	送金手数料振替
合 計	6,159,017	6,160,342	△ 1,325	

#### 支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
研究助成金	1,378,290	1,178,000	200,290	3件執行
事務費	0	1,200	△ 1,200	送金手数料
予備費	4,780,727	0	4,780,727	
次年度繰越金	0	4,981,142	△ 4,981,142	
合 計	6,159,017	6,160,342	△ 1,325	

### ② 国際図書館協力特別会計

#### 収入の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
前年度繰越金	4,198,834	4,198,834	0	
預金利息	1,000	1,283	△ 283	
基金	1,500,000	1,450,000	50,000	14社
国際図書館協力事業支援費	2,000,000	2,000,000	0	
事業収入	600,000	365,000	235,000	
内訳				
1. シンポジウム参加費	250,000	215,000	35,000	
2. 海外集合研修参加費	350,000	150,000	200,000	5万円×3名
雑収入	0	252,900	△ 252,900	09年度第1回寄贈資料搬送事業未実施分25万円戻入、送金手数料振替
合 計	8,299,834	8,268,017	31,817	

#### 支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
事業活動費	4,410,000	3,034,980	1,375,020	
内訳				
1. シンポジウム費	900,000	1,519,444	△ 619,444	
2. 搬送事業費	1,500,000	761,200	738,800	2回分
3. 海外集合研修補助金	1,260,000	754,336	505,664	3名分
4. 海外派遣研修費	750,000	0	750,000	中止
事務費	0	2,900	△ 2,900	送金手数料
予備費	3,889,834	0	3,889,834	
次年度繰越金	0	5,230,137	△ 5,230,137	
合 計	8,299,834	8,268,017	31,817	

③ 総会・研究大会特別会計 第71回 (2010年度)

収入の部

(円)

科 目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A-B)	備 考
総会・研究大会開催支援費	1,400,000	1,400,000	0	
総会参加費	600,000	602,000	△ 2,000	@2,000×301名(免除者除く)
研究大会参加費	600,000	562,000	38,000	@2,000×285名(免除者除く)
意見交換会参加費	1,500,000	1,446,000	54,000	@6,000×241名
企業関係者参加費	320,000	298,000	22,000	総会 @2,000×14名 意見交換会 @6,000×45名
総会・研究大会特別協力費	200,000	180,000	20,000	@20,000×9社(インフォテック出展企業)
雑収入	0	294	△ 294	預金利息
合 計	4,620,000	4,488,294	131,706	

支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備 考
運営費	3,243,500	2,815,800	427,700	
1. 来賓、協賛企業、役員校昼食費	90,000	37,800	52,200	来賓、役員校 @1,800×21名
2. 意見交換会(9/9)	1,800,000	1,716,000	84,000	料理、飲み物 286名 一式
3. 参加者昼食費(9/9・10)	910,000	760,800	149,200	@1,200 329個+305個=634個
4. 運営委員昼食費(9/9・10)	130,000	108,000	22,000	会場校スタッフ @1,200×45名×2日
5. 講師昼食費(9/9)	7,500	0	7,500	講師2名、館長、事務局 5名
6. 会場設営費	50,000	20,000	30,000	会場看板、壇上装花
7. 休憩時飲み物	156,000	142,200	13,800	ペットボトル @120×1,185本
8. 会場運営費一式	50,000	0	50,000	学生アルバイト他
9. その他看板類	50,000	31,000	19,000	正門、会場看板
博物館関係費	516,000	495,500	20,500	
1. 貸切バス代	441,000	427,200	13,800	@71,200×6台(都市高速通行料含む)
2. 会場使用料	12,000	17,520	△ 5,520	ミュージアムホール使用料、機器使用料
3. 入場料	63,000	44,940	18,060	@210×214枚
4. 記念講演講師打合交通費等	0	5,840	△ 5,840	交通費他
資料作成費	330,000	425,250	△ 95,250	総会・研究大会冊子 900部
印刷費	20,000	23,850	△ 3,850	開催通知、当日レジュメ等の印刷
通信費	114,000	80,260	33,740	
1. 開催通知	56,000	49,520	6,480	@80×619通
2. はがき・切手	10,000	3,080	6,920	@80×18通、@160×1通、@740×2通
3. 資料送付(委任状校、欠席者)	48,000	27,660	20,340	@80×330通、@1260×1通
クリップファイル	252,000	183,600	68,400	@540×340冊
事務局経費	133,000	181,689	△ 48,689	
1. 事務用品	103,000	38,593	64,407	
記章等	10,000	0	10,000	来賓、受賞者用
手提げ袋	63,000	0	63,000	広報・企画課より
参加者名札ケース	30,000	37,533	△ 7,533	ストラップ型名札(4色)、名札台紙
記録用MO	0	1,060	△ 1,060	
2. 記録写真	10,000	8,453	1,547	撮影、フィルム、現像、アルバム、台紙
3. 雑費	20,000	134,643	△ 114,643	
ペットボトルケース	0	68,000	△ 68,000	@200×340個
オリジナル菓子	0	64,260	△ 64,260	@189×340個
雑費	0	2,383	△ 2,383	振込手数料、ペットボトルケース貼付名札
予備費	11,500	0	11,500	
支出合計	4,620,000	4,205,949		
一般会計へ戻入	0	282,345	△ 282,345	
合 計	4,620,000	4,488,294	131,706	

[財産目録]

(円)

科	目	金額	備考
1. 財産の部	合計	27,701,019	
一般会計	普通預金	17,489,740	
特別会計（研究助成）	普通預金	4,981,142	
特別会計（国際図書館協力基金）	普通預金	5,230,137	
2. 負債の部	合計	0	
3. 差引財産の部	合計	27,701,019	

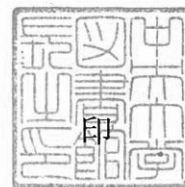
[私立大学図書館協会 会長校 関西大学図書館]

監 査 報 告 書

一般会計収支計算書ならびに特別会計収支計算書について、関係帳簿ならびに証憑書類を監査した結果、適正であることを認めます。

2011年4月11日

監事校 中央大学図書館



2011年4月12日

監事校 大阪学院大学図書館



## 第 2 号議案 「東日本大震災」被災地域加盟館への支援（案）

### 1. 支援対象館の年会費免除

### 2. 支援対象館の 2011 年度総会・研究大会特別招待

支援対象館より各 1 名を本年度総会・研究大会に特別招待（総会・研究会費を事業費から支出）

### 3. アンケートの実施と支援策検討

#### (1) アンケートの実施

東地区部会に所属する 260 の加盟校を対象にアンケートを行い、被害状況、希望する支援を把握する。

#### (2) アンケート回答をふまえての支援策検討

会長校が常任幹事校と協議しつつ対応する。

### 4. 支援情報の発信

「東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援」を協会 Web ページより発信

### 5. 事業費計上

上記「1」～「4」の活動のため総額 200 万円を限度として事業費を計上する。

#### (\*) 【支援対象館】 37 館

支援対象館を、厚生労働省が 2011 年 3 月 24 日に「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適用について（第 11 報）」で報じた適用市町村のうち、東京都（帰宅困難者発生）を除く市町村に所在する（分館等を含む）図書館とする。

八戸工業大学図書館■八戸大学・八戸短期大学図書館■盛岡大学図書館■富士大学図書館■北里大学海洋生命科学部図書館■東北福祉大学図書館■東北文化学園大学総合情報センター図書館■東北薬科大学附属図書館■宮城学院女子大学図書館■東北学院大学中央図書館（東北学院大学泉キャンパス図書館）（東北学院大学多賀城キャンパス図書館）■仙台白百合女子大学図書館■東北工業大学附属図書館（東北工業大学附属図書館長町分館）■尚綱学院大学図書館■石巻専修大学図書館■仙台大学附属図書館■いわき明星大学図書館■東日本国際大学昌平図書館■奥羽大学図書館■郡山女子大学図書館■日本大学工学部図書館■国際医療福祉大学図書館■作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館■帝京大学宇都宮キャンパス図書館■文星芸術大学図書館■白鷗大学総合図書館（白鷗大学総合図書館分館）■つくば国際大学図書館■茨城キリスト教大学図書館■常磐大学情報メディアセンター■筑波学院大学附属図書館■東京医科大学図書館霞ヶ浦分館■流通経済大学図書館■神田外語大学附属図書館■東京歯科大学図書館■千葉工業大学附属図書館（千葉工業大学津田沼図書館）■日本大学生産工学部図書館■川村学園女子大学図書館■中央学院大学図書館■明海大学浦安キャンパスメディアセンター（図書館）

## 第3号議案 2011年度事業計画（案）

近年、学生の学習を支え大学の教育研究活動を支援する組織として、図書館への期待が大きくなるとともに、その役割はますます多様化しつつあります。教育活動においては情報リテラシー教育支援やラーニング・コモンズに象徴される学習環境の整備への直接的な関与が求められ、研究支援においては学術資料の変化に応じた研究環境整備が求められています。

本協会の加盟館は、このような状況のもと、大学の教育研究の基盤を担うという共通の目的を有する一方で、大学の規模や特徴、また地域によって、それぞれ固有の課題を有しています。

私立大学図書館の約9割が加盟する本協会は、利害を超越し互いに協力しながら自らの改善発達を図るという設立の原点を確認しつつ、加盟する500余館それぞれの向上に寄与できる働きを強めていかなければなりません。大学規模の大小や立地場所などにかかわらず、すべての加盟館の事業の充実と構成員の資質向上に資するような活動を推進するためには、改めて本協会の組織・機能、事業についての検証を行なった上で、設立時からの理念を継承しつつ、時代に即した活動のあり方を再構築する必要があると考えます。

また、3月11日に起こった東日本大震災は被害が広範囲にわたり、加盟館の建物や施設に被害を与えるとともに、図書館の危機管理のあり方に大きな課題を投げかけました。本協会は長期的な展望にたってこの問題に取り組まなければならないと思います。

そのような認識に立ち、2011年度の協会事業として以下の事業計画を提案いたします。

### （1）「東日本大震災」被災地域加盟館への支援（第2号議案）

### （2）第72回総会・研究大会の開催

会期：2011年9月1日（木）～2日（金）

当番校：早稲田大学

テーマ：「学術情報基盤の要としての大学図書館の整備」

総会と研究大会を同時に開催する。加盟校から多くの参加者が来られるように、研究大会はテーマに沿った発表、シンポジウム等を設定し、あらゆる年齢層の参加と、館員の自覚と研鑽の動機付けができるような大会運営を行う。

### （3）協会委員会活動の支援

#### ① 協会賞審査委員会

これまでの審査基準を踏襲しつつも、図書館における継続的な活動に加え、時代に即した新たな分野・業績を積極的に採択する。審査対象期間についても、当該年度に加え過去3年間に拡大されたことを周知徹底し、各図書館の業績・成果を顕彰する。

#### ② 研究助成委員会

大学図書館の管理運営、図書館技術、利用・奉仕、基礎的研究等の各分野での募

集を行う。加えて、課題研究ならびに海外図書館事情調査への積極的な参加を要請し、協会全体の研究活動はもとより、個々の図書館員のレベルアップを支援する。

③ 国際図書館協力委員会

従来からの事業項目を継承しつつ、事業のさらなる充実を目指す。

- ア) 海外寄贈資料搬送事業の実施
- イ) 国際図書館協力シンポジウム
- ウ) 海外集合研修の実施
- エ) 海外派遣研修の実施
- オ) 海外認定研修の実施

④ 協会ホームページ委員会

会員同士の情報の共有化を図り、本協会活動の情報、研究成果の受発信の場として機能する事を目指して、電子掲示板の活用など協会ホームページの改善・充実に取り組む。

**(4) 他機関との連携・協力**

種々の関連団体・企業等との協力を図る。特に、国公立大学図書館協力委員会、国立情報学研究所等との連携・協力を推進する。

**(5) 会報（第 136 号～第 137 号）の刊行**

担 当：日本女子大学

**(6) 東西地区部会活動の推進**

加盟校の直接的な活動の場であるそれぞれの地区部会活動・研究会活動の推進が、協会事業推進に繋がるという観点から下記事業の実施推進を図る。

- ① 東地区部会総会、研究分科会報告大会、研修会の開催
- ② 東地区分科会活動の見直しと活性化
- ③ 西地区部会総会、研究大会の開催
- ④ 西地区部会、各地区協議会における総会、研究会等研修事業並びに相互協力事業の推進

**(7) 組織の拡大（加盟校の拡大）**

新設校を含め未加盟校への勧誘を継続する。

**(8) 情報の共有化**

協会関連団体等から発信される情報をリアルタイムに協会加盟校に伝達するとともに、本協会からも様々な情報を外部に向かって発信するために、協会ホームページの積極的な活用を推進する。

#### (9) 協会史のデジタル化

私立大学図書館協会史「東京私立大学図書館協議会より第十五回総会まで」（1956）をPDF化し、デジタルアーカイブとして私立大学図書館協会のホームページに掲載する。

#### (10) 協会ホームページの充実

各地区部会・協議会ホームページの利便性向上と内容の充実を図る。専門知識がなくとも委員が務まるようホームページ業務の外部委託を検討するとともに、汎用性の高い環境を整え、図書館の運営やサービス提供のために有益な情報リソースを提供する統合ポータル機能を強化する。

## 第4号議案 2011年度一般会計・特別会計予算（案）

（2011年4月1日～2012年3月31日）

### （1）一般会計

#### 収入の部

（円）

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
会 費	16,265,000	16,265,000	0	加盟大学520校
雑収入	30,000	30,000	0	資料売上代・預金利息
小 計	16,295,000	16,295,000	0	
前年度繰越金	17,489,740	16,501,620	988,120	
合 計	33,784,740	32,796,620	988,120	

#### 支出の部

（円）

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
運営費	2,550,000	2,450,000	100,000	
1. 事務費	400,000	300,000	100,000	消耗品、振込手数料、協会史のデジタル化他
2. 印刷費	350,000	350,000	0	配付書類印刷費他
3. 通信費	400,000	400,000	0	配付書類等郵便費
4. 役員会費	300,000	300,000	0	常任幹事会・東西合同役員会他
5. 委員会費	100,000	100,000	0	協会賞審査委員会
6. 役員校活動費	1,000,000	1,000,000	0	会長校、部会長校、監事校活動費
事業費	16,226,950	14,313,050	1,913,900	
1. 総会・研究大会開催支援費	1,400,000	1,400,000	0	総会開催援助金
2. 協会賞費	100,000	100,000	0	賞金（1件）
3. 講師派遣費	350,000	350,000	0	総会、研究大会来賓交通費、宿泊費、講師謝礼
4. 会報刊行費	1,700,000	1,700,000	0	会報136号、137号、テラ起こし代
5. 部会交付金	6,760,000	6,760,000	0	東地区260校、西地区260校（@13,000）
6. 委員会活動費	750,000	750,000	0	研究助成、国際図書館協力、ホームページ各委員会へ各25万円
7. 国際図書館協力事業支援費	2,000,000	2,000,000	0	国際図書館協力委員会事業の補助
8. 海外認定研修補助費	500,000	500,000	0	11年度より国際図書館協力特別会計へ支出
9. 協会HP有料サイト利用料	166,950	253,050	△ 86,100	2012年度分前払い
10. 協会HP運営費	500,000	500,000	0	維持・管理、コンテンツ作成等外部委託費として300万円まで予備費より補てんが可
11. 「東日本大震災」被災地域加盟館への支援費	2,000,000	0	2,000,000	①年会費免除 ②総会・研究大会特別招待 ③アンケート結果による支援費として上限200万円まで支出
国公立大学図書館協力費	500,000	500,000	0	
小 計	19,276,950	17,263,050	2,013,900	
予備費	14,507,790	15,533,570	△ 1,025,780	
合 計	33,784,740	32,796,620	988,120	



## (2) 特別会計

### ① 研究助成特別会計

#### 収入の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
寄付金	600,000	600,000	0	
預金利息	1,000	1,000	0	
小 計	601,000	601,000	0	
前年度繰越金	4,981,142	5,558,017	△ 576,875	
合 計	5,582,142	6,159,017	△ 576,875	

#### 支出の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
研究助成金	600,000	1,378,290	△ 778,290	1件採択
予備費	4,982,142	4,780,727	201,415	
合 計	5,582,142	6,159,017	△ 576,875	

### ② 国際図書館協力特別会計

#### 収入の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
基金	1,500,000	1,500,000	0	
国際図書館協力事業支援費	2,000,000	2,000,000	0	
海外認定研修補助費	500,000	0	500,000	項目新設
事業収入	600,000	600,000	0	
内訳				
1. シンポジウム参加費	250,000	250,000	0	5,000×50名分×1回
2. 海外集合研修参加費	350,000	350,000	0	50,000×7人分
預金利息	1,000	1,000	0	
小 計	4,601,000	4,101,000	500,000	
前年度繰越金	5,230,137	4,198,834	1,031,303	
合 計	9,831,137	8,299,834	1,531,303	

#### 支出の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
事業活動費	4,910,000	4,410,000	500,000	
内訳				
1. シンポジウム運営費	900,000	900,000	0	1回分
2. 搬送事業費	1,500,000	1,500,000	0	2回分
3. 海外集合研修補助金	1,260,000	1,260,000	0	7人分
4. 海外派遣研修費	750,000	750,000	0	
5. 海外認定研修補助費	500,000	0	500,000	項目新設、50,000×10人分
予備費	4,921,137	3,889,834	1,031,303	
合 計	9,831,137	8,299,834	1,531,303	

③ 総会・研究大会特別会計 第72回(2011年度)

収入の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
総会・研究大会開催支援費	1,400,000	1,400,000	0	
大会参加費	700,000	600,000	100,000	@2,000×350名
研究大会参加費	700,000	600,000	100,000	@2,000×350名
意見交換会参加費	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	@4,000×300名
企業関係者参加費	300,000	320,000	△ 20,000	資料費, 意見交換会費@6,000×50人
総会・研究大会特別協力費	200,000	200,000	0	インフォマス使用企業 @20,000×10社
雑収入	0	0	0	預金利息等
合 計	4,500,000	4,620,000	△ 120,000	

支出の部

(円)

科 目	11年度予算 (A)	10年度予算 (B)	差異 (A-B)	備 考
運営費	3,222,000	3,243,500	△ 21,500	
1. 来賓, 協賛企業, 役員校昼食費	120,000	90,000	30,000	@1,500×40人×2日
2. 意見交換会	1,400,000	1,800,000	△ 400,000	料理、飲み物@4,000×350人
3. 参加者昼食費	1,200,000	910,000	290,000	@1,500×400人×2日
4. 運営委員会昼食費	150,000	130,000	20,000	@1,500×50人×2日
5. 講師昼食費	15,000	7,500	7,500	講師5名, 館長, 事務局@1,500×10人
6. 会場設営費	50,000	50,000	0	会場吊看板、壇上活花
7. 休憩時飲み物	169,000	156,000	13,000	@130×1,300本
8. 会場運営費一式	68,000	50,000	18,000	受付等臨時雇い
9. その他看板類	50,000	50,000	0	会場(18号館)前, 昼食会場(22号館)
博物館関係	0	516,000	△ 516,000	
1. 貸切バス代	0	441,000	△ 441,000	@70,000×6台×1.05
2. 会場使用料	0	12,000	△ 12,000	ミュージアムホール使用料
3. 入場料	0	63,000	△ 63,000	@210×300
資料作成費	450,000	330,000	120,000	総会・研究大会冊子900部
印刷費	30,000	20,000	10,000	開催通知、当日レジユメ等の印刷
通信費	130,000	114,000	16,000	
1. 開催通知	64,000	56,000	8,000	@80×800
2. はがき・切手	10,000	10,000	0	発表者連絡、事務連絡用等
3. 資料送付(委任状校, 欠席者)	56,000	48,000	8,000	委任状提出校, 欠席者@160×350
クリップファイル	0	252,000	△ 252,000	@600×400冊×1.05
来場者用バッグ	600,000	0	600,000	@1,500×400
事務局経費	68,000	133,000	△ 65,000	
1. 事務用品	58,000	103,000	△ 45,000	
記章等	10,000	10,000	0	来賓、受賞者用
手提げ袋	0	63,000	△ 63,000	@180×350
参加者名札ケース	45,000	30,000	15,000	ストラップ型(4色)
記録用USB	3,000	0	3,000	
2. 記録写真	10,000	10,000	0	記録媒体(SDカード等)プリント、アルバム、台紙
3. 雑費	0	20,000	△ 20,000	
小 計	4,500,000	4,608,500	△ 108,500	
予 備 費	0	11,500	△ 11,500	
一般会計へ戻入	0	0	0	
合 計	4,500,000	4,620,000	△ 120,000	

2011年度 会費納入額

区 分		A	B	C	D	E	
学 生 数 (人)		500以下	501~1,500	1,501~3,000	3,001~8,000	8,001以上	
会 費	基 礎 会 費 (円)	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	
	賛 助 会 費 (円)	0	5,000	10,000	15,000	20,000	
	合 計 (円)	22,000	27,000	32,000	37,000	42,000	
							合 計
東地区 (校)		30	68	70	59	33	260
西地区	東海地区	6	21	9	8	7	51
	京都地区	6	11	12	10	4	43
	阪神地区	10	21	14	16	8	69
	中国・四国地区	6	20	9	9	0	44
	九州地区	8	21	13	9	2	53
	小計 (校)	36	94	57	52	21	260
合 計 (校)		66	162	127	111	54	520
会費合計 (円)		1,452,000	4,374,000	4,064,000	4,107,000	2,268,000	16,265,000

# 第5号議案 協会賞授与規程および「協会賞」の審査にあたっての 申し合わせ事項の改訂（案）

## 1. 理由

協会賞への応募は、ここ数年1, 2件にとどまっている。なぜ応募が少ないかについて、2010年度の審査の課程で話題となった。現行の規程、申し合わせ事項を読み直すと、現在の図書館活動全般と見合わせた場合、不足が気になった。また、どの活動を対象としているか、明確にわかりづらい部分にも気付いた。

図書館の活動と協会賞の応募要件を見合わせたときに、わかりやすく応募数促進につながる規程等の条文、説明が必要であると考え、改訂を提案したい。

いずれも応募をしやすいように有効と考える。図書館を取り巻く環境の変化、業務の変化に伴って、授与規程、申し合わせ事項についても違和感のないよう修正していく必要がある。これにより、今まで以上に積極的に協会賞申請をしていただき、加盟図書館および私立大学図書館協会の活性化につながることを望むものである。

## 2. 協会賞授与規程の一部改訂

第1条 本協会加盟校の図書館員のうち、図書館学の研究・調査・・・

→ 図書館・情報学の研究・調査・・・

第2条

2 協会賞は、・・・第1部賞 図書館学の研究・調査業績・・・

→ 図書館・情報学の研究・調査業績・・・

第3条

第1部（図書館学の研究・調査業績） → （図書館・情報学の研究・調査・・・

(1) 図書館学一般・図書館行政部門 → 図書館・情報学一般部門

(2) 図書館事業部門 \*新設

(3) 図書館技術部門 \* (2)を(3)に

(4) 書誌・歴史部門 \* (3)を(4)に

第2部（経営管理業績・協会活動業績）

(5)の1 大学図書館経営管理部門 \* (4)の1を(5)の1へ

(5)の2 図書館・情報学・大学図書館発展への寄与部門 \* (4)の2を(5)の2へ

(5)の3 本協会活動への貢献部門 \* (4)の3を(5)の3へ

第11条 協会賞授与のほか、図書館学の研究・調査業績・・・

→ 図書館・情報学の研究・調査業績

### 3. 「申し合わせ事項」の一部改訂

\* 「協会賞」の審査にあたっての協会賞審査委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項

#### 2 審査に関する基準（目安）

(1) 規程第3条の第1部（図書館学の研究・調査業績） → 図書館・情報学  
採択可否のポイント

（ア） 画期的な創意がみられること → 創意工夫がみられること

#### 4. 施行期日は2011年4月1日とする。

- ・私立大学図書館協会 協会賞授与規程 新旧比較対照表
- ・「協会賞」の審査にあたっての協会賞審査委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項 新旧比較対照表

以上

私立大学図書館協会 協会賞授与規程 新旧比較対照表

改 正 案	現 行
<p>(昭和33年 6月12日 制定)                      (昭和35年 6月2日 改 定)                      (平成7年 8月2日 一部改正)                      (平成12年12月6日 一部改正)                      (平成18年 9月7日 一部改正)                      (2011年 9月 1日 一部改正)</p> <p>第1条 本協会加盟校の図書館員のうち、<u>図書館・情報学</u>の研究・調査又は大学図書館の経営管理において顕著な業績を残した者、若しくは経営管理的手段を通じて大学図書館の向上発展に顕著な寄与をなし、又は本協会の活動に多大な貢献をした者に対しては、個人、団体を問わず、この規程に基づいて協会賞を授与する。</p> <p>2 協会賞は、次の二種とし、表彰状に賞金を添えてこれを授与する。</p> <p>第1部賞 <u>図書館・情報学</u>の研究・調査業績に対する協会賞</p> <p>第3条 協会賞の授与は、次の部門を通じて毎年度4件以内とする。</p> <p>第1部 (<u>図書館・情報学</u>の研究・調査業績)</p> <p>(1) <u>図書館・情報学一般部門</u>                      (2) <u>図書館事業部門</u>                      (3) <u>図書館技術部門</u>                      (4) <u>書誌・歴史部門</u></p>	<p>(昭和33年 6月12日 制定)                      (昭和35年 6月2日 改 定)                      (平成7年 8月2日 一部改正)                      (平成12年12月6日 一部改正)                      (平成18年 9月7日 一部改正)</p> <p>第1条 本協会加盟校の図書館員のうち、<u>図書館学</u>の研究・調査又は大学図書館の経営管理において顕著な業績を残した者、若しくは経営管理的手段を通じて大学図書館の向上発展に顕著な寄与をなし、又は本協会の活動に多大な貢献をした者に対しては、個人、団体を問わず、この規程に基づいて協会賞を授与する。</p> <p>第2条 協会賞は、過去3年以内に発表された研究・調査業績（インターネット上に公表されたものを含む。）、又はその年度までに行われた経営管理の業績若しくは本協会活動への貢献に対し、翌年度の総会においてこれを授与し表彰するものとする。</p> <p>2 協会賞は、次の二種とし、表彰状に賞金を添えてこれを授与する。</p> <p>第1部賞 <u>図書館学</u>の研究・調査業績に対する協会賞</p> <p>第2部賞 大学図書館の経営管理業績、大学図書館の向上発展に寄与した業績又は本協会活動に貢献した業績に対する協会賞</p> <p>第3条 協会賞の授与は、次の部門を通じて毎年度4件以内とする。</p> <p>第1部 (<u>図書館学</u>の研究・調査業績)</p> <p>(1) <u>図書館学一般・図書館行政部門</u>                      新設                      (2) <u>図書館技術部門</u>                      (3) <u>書誌・歴史部門</u></p>

<p>第2部（経営管理業績・協会活動業績）</p> <p>(5)の1 大学図書館経営管理部門</p> <p>(5)の2 <u>図書館・情報学</u>・大学図書館発展への寄与部門</p> <p>(5)の3 本協会活動への貢献部門</p> <p>第4条 協会賞の推薦は、加盟校の図書館員の業績の中から、所属図書館長又は他の加盟校の図書館長が、前条(5)の3については当該地区部会長校が文書をもって、会長校にこれを行うものとする。</p>	<p>第2部（経営管理業績・協会活動業績）</p> <p>(4)の1 大学図書館経営管理部門</p> <p>(4)の2 <u>図書館学</u>・大学図書館発展への寄与部門</p> <p>(4)の3 本協会活動への貢献部門</p> <p>第4条 協会賞の推薦は、加盟校の図書館員の業績の中から、所属図書館長又は他の加盟校の図書館長が、前条(4)の3については当該地区部会長校が文書をもって、会長校にこれを行うものとする。</p> <p>第5条 協会賞の授与は、この規程に定める協会賞審査委員会（以下「委員会」という。）の答申に基づいて、役員会がこれを決定する。</p> <p>第6条 協会賞の審査は、役員会がこれを委員会に付託する。</p> <p>2 推薦書に本人又は推薦者から提供された参考資料があるときは、その複本を付託原本に添付しなければならない。</p> <p>第7条 委員会は付託されたものについて審査を行い、協会賞採択の可否、付帯意見及びそれらの理由等につき議決して、これを役員会に答申するものとする。</p> <p>2 委員会は前項の審査上必要と認めるときは、役員会、推薦者又は本人に対して資料の提供を求められることができる。</p> <p>3 委員会の文書、資料は、その任期期間中は委員会がこれを保管する。</p> <p>第8条 委員会の委員は、加盟校の図書館員の中から役員会がこれを推薦し、会長校が委嘱する。</p> <p>2 委員の定数は8名とする。</p> <p>3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が任期の途中で退任した場合、後任者の任期は前任者の残任期間とする。</p>
--	--

<p>第 11 条 協会賞授与のほか、<u>図書館・情報学の研究・調査業績又は大学図書館の組織・運営に関する業績を審査する必要があるときには、この規程を準用する。</u></p> <p><u>3</u> この規程の改正は平成 18 年 4 月 1 日より施行する。</p> <p><u>4</u> この規程の改正は 2011 年 4 月 1 日より施行する。</p>	<p>第 9 条 委員会の委員長は、委員会が委員の中から互選して、これを役員会に推薦し、会長校が委嘱する。</p> <p>2 委員長は委員会を招集し、その議長となり、会務を処理する。</p> <p>第 10 条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、審議の公正を妨げる恐れがあると疑われる委員は議決に加わることはできない。</p> <p>2 委員は、通信の方法によって委員会に参加することができ、これを当該委員の出席とみなす。ただし、前項の議決を行う場合において、出席委員の意思表示が所定の期日までに到着しなかった場合は、これを無効とする。</p> <p>第 11 条 協会賞授与のほか、<u>図書館学の研究・調査業績又は大学図書館の組織・運営に関する業績を審査する必要があるときには、この規程を準用する。</u></p> <p>附 則</p> <p>1 この規程の改正は平成 8 年 4 月 1 日より施行する。</p> <p>2 この規程の改正は平成 12 年 12 月 1 日より施行する。</p> <p><u>附則 (第 2 条改正)</u></p> <p>この規程の改正は平成 18 年 4 月 1 日より施行する。</p> <p>(新設)</p>
---	---



「協会賞」の審査にあたっての協会賞審査委員会および東西合同役員会での  
申し合わせ事項 新旧比較対照表

変 更 (案)	現 行
<p style="text-align: center;">(2011年8月31日承認)</p>	<p style="text-align: center;">(2006年9月6日承認)</p> <p>1 推薦に関する基本事項</p> <p>(1) 協会賞は、私立大学図書館協会協会賞受与規程第3条に規定の各部門において、顕著な業績を残した者、大学図書館の向上発展に顕著に寄与した者、本協会の活動に多大の貢献をした者に対して、個人、団体を問わず授与される。</p> <p>ただし、「個人」とは、本協会加盟図書館に属する職員をいう。また、「団体」とは、本協会加盟図書館そのもの、および、本協会のもとにある地区部会、地区協議会、本協会関係の委員会、または、本協会加盟図書館に属する職員が中心となって構成する研究活動や調査活動などを行う組織体をいう。</p> <p>なお、組織体を構成せず、複数名が共同して活動し研究・調査に業績があった場合は、「個人」として扱う。</p> <p style="text-align: right;">[規程第1条関連]</p> <p>(2) 推薦の受付期間は、毎年10月初旬に会長校の図書館長名で各加盟大学図書館長宛に案内があった日から、会長校が定めた所定の期間内とする。</p> <p>会長校は推薦を受理したものにつき、審査委員会委員長と連名で審査委員会の会議を招集する。</p> <p style="text-align: right;">[規程第4条、第6条関連]</p> <p>(3) 推薦の日から当該年度末までに退職を予定される者についても、被推薦者となることができる。ただし、推薦の時点で既に退職している者については授与の対象としない。</p>

<p>2 審査に関する基準（目安）</p> <p>当面、下記の「採択可否のポイント」および過去の審査における採択の状況をもって今後の判断基準とし、かつ、推薦されるときを目安に資することにする。</p> <p>(1) 規程第3条の第1部（<u>図書館・情報学</u>の研究・調査業績）</p> <p>採択可否のポイント</p> <p>(ア) <u>創意工夫</u>がみられること。そのノウハウが各加盟館において多大に生かされることが想定されるものであること。建造物にかかわる内容の場合も同</p>	<p>なお、審査委員会の所管事項ではないが、審査委員会が採択を可とする答申を行ったのち、役員会が授与を決定した日から表彰を行う当日までの間に死亡した者にも協会賞を授与されるものとする。</p> <p>[規程第1条、第4条関連]</p> <p>(4) 推薦の書式は問わないが、A4判横書きとする。</p> <p>審査は、推薦の書面および添付されている資料があるときはその資料を含めて、書面による審査を原則とする。従って、どの部門による推薦であるのか明記のうえ、どのような特徴的な事象があるのか、本協会に対してどのような多大の貢献があったのか等が、それぞれ具体的に記されているものとする。</p> <p>また、それぞれの業績、寄与、ならびに貢献の内容を補いまたはそれらを裏付けるのに足りる本人あるいは推薦者からの参考資料を添付されていることが望ましい。</p> <p>[規程第1条、第3条、第6条関連]</p> <p>2 審査に関する基準（目安）</p> <p>当面、下記の「採択可否のポイント」および過去の審査における採択の状況をもって今後の判断基準とし、かつ、推薦されるときを目安に資することにする。</p> <p>(1) 規程第3条の第1部（<u>図書館学</u>の研究・調査業績）</p> <p>採択可否のポイント</p> <p>(ア) <u>画期的な創意</u>がみられること。そのノウハウが各加盟館において多大に生かされることが想定されるものであること。建造物にかかわる内容の場合</p>
---	--

<p>様とする</p>	<p>も同様とする</p> <p>(イ) 研究活動が長年にわたっている場合、その成果が集積され推薦年度に評価できる一定の成果がみられること。</p> <p>(ウ) 過去に複数論文を発表していて、推薦年度において発表された論文が同種のテーマであり、かつ、その内容がユニークなうえに将来に対して示唆に富んだものであること。</p> <p>(エ) 調査業績の結果が、多くの大学図書館において参考に資せると思料できること。</p> <p>(オ) ハンドブックのように世に出ることによって、各種図書館殊に大学図書館において大変役立つものと思われること。</p> <p>なお、刊行物または論文が当該推薦にかかるとき、これが本協会の研究助成を受けて刊行または掲載されている場合であっても協会賞の授与対象とする。</p> <p>参考 過去の受賞対象 (略)</p> <p>(2) 規程第3条の第2部（経営管理業績・協会活動業績）</p>
<p>採択可否のポイント</p> <p>規程第3条第1項第(5)の3にかかる、本協会への貢献に関する審査のポイントは、下記の条件を全て満たしている者とする。</p>	<p>採択可否のポイント</p> <p>規程第3条第1項第(4)の3にかかる、本協会への貢献に関する審査のポイントは、下記の条件を全て満たしている者とする。</p> <p>(ア) 本協会加盟図書館で30年以上の勤務者。</p> <p>(イ) 前項の期間において、1. 本協会が設置する委員会または過去に設置していた委員会の委員の任期、2. 本協会が委員を派遣している委員会または派遣していた委員会の委員の任期、および3. 会長校または地区部会長校の会務において中心的役割を果たした期間の全てを通算して15</p>

<p>(ウ) 前項の期間の活動において、リーダーシップを発揮して大学図書館の発展に貢献したことが顕著であった者。</p> <p>なお、上記(イ)および(ウ)の貢献が通算15年相当であっても、勤続が30年に満たない者の場合は、審査委員会はその採択を否とするが、審査委員会が審査の付託を受けず、役員会において特別の表彰を議決された場合は、この限りではない。</p> <p>また、規程第3条第(5)の1並びに同(5)の2の部門については、上記2(1)に準じて判断するものとする。</p> <p>附則 2006年度第1回東西合同役員会 承認(2006年9月6日)</p> <p>附則 <u>2011年度第1回東西合同役員会</u> <u>承認(2011年8月31日)</u></p>	<p>年以上となる者。</p> <p>ただし、地区部会および地区協議会が設置している委員会の任期は含めないものとする</p> <p>(ウ) 前項の期間の活動において、リーダーシップを発揮して大学図書館の発展に貢献したことが顕著であった者。</p> <p>なお、上記(イ)および(ウ)の貢献が通算15年相当であっても、勤続が30年に満たない者の場合は、審査委員会はその採択を否とするが、審査委員会が審査の付託を受けず、役員会において特別の表彰を議決された場合は、この限りではない。</p> <p>また、規程第3条第(4)の1並びに同(4)の2の部門については、上記2(1)に準じて判断するものとする。</p> <p>参考 過去の受賞対象 (略)</p> <p>附則 2006年度第1回東西合同役員会 承認(2006年9月6日)</p>
---	--

## 第6号議案 新規加盟校および脱退校（案）

### （1）2011年度新規加盟校：9校

東地区	4校	ヤマザキ学園大学	(2010年 8月30日受理)
		洗足学園音楽大学	(2010年11月11日受理)
		北海道薬科大学	(2011年 4月26日受理)
		日本映画大学	(2011年 5月25日受理)
西地区	5校	滋慶医療科学大学院大学	(2011年 2月25日受理)
		純真学園大学	(2011年 4月18日受理)
		京都華頂大学	(2011年 4月28日受理)
		大阪河崎リハビリテーション大学	(2011年 5月23日受理)
		大阪総合保育大学	(2011年 7月22日受理)

### （2）2011年度脱退校：2校

西地区	2校	金沢学院大学	(2010年3月23日届出, 2011年3月4日受理)
		東和大学	(2011年 2月 3日受理)

### 2011年度加盟校数

東地区	264校
西地区	263校
合計	527校